

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

23年12月11日

物価高騰対策の直接支援や補助金などを求めて新潟市へ予算要望書を提出

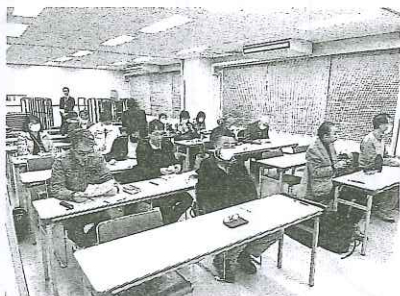
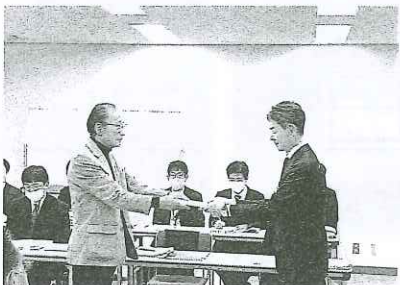
新潟民商も参加する「地域経済を振興し、くらし・福祉・教育の充実を目指す新潟市実行委員会」は28日、来年度予算への要望書を提出しました。新潟民商からは野上昇会長を筆頭に6名が参加しています。

冒頭、実行委員会の井浦代表委員が「毎年要望を出しているが、それだけ強い想いで要望している。1つでも前進するような回答を期待している」と挨拶しました。

新潟市の回答は国や県任せの回答が多く、今後の臨時交付金についても「何が効果的なのか検討している」と述べるに留まりました。

その後の討論では「省人化サポート補助金は小規模事業者は利用しづらい。どんな議論がされたのか」「売上が戻ってきていても仕入値高騰で転嫁できていない。直接支援をできないか」などの意見が次々と出されます。しかし市の担当は「幅広い意見をいただいて参考にします」の繰り返しでした。

業を煮やした参加者からは「とにかく現場を見て欲しい」との要望も。参加者たちは口々に「市長の姿勢が表れている。市長が変わらないと何も変わらないね」と感想を話していました。



新潟民商の提出した主な要望

- ① 健幸住まいリフォーム事業の拡充
- ② 既存店魅力向上事業の復活・拡充
- ③ 中小業者への直接支援・独自の補助金
- ④ ゼロゼロ借換融資への利子補給 など

日程

- ・ 共済会三役会 12月15日(金)
- ・ 税金相談員学習会 12月18日(月)
- ・ 婦人部三役会 12月19日(火)

新入会員が初参加！黒埼支部共済会学習会

黒埼では27日、会員の店「ふじ乃家」にて役員呼び掛けに9名が参加し、共済会学習会が開催されました。それぞれ自己紹介の後、石川共済理事(酒類販売)と高橋支部長(自動車販売)から共済Q&Aを用い制度等の説明がされ、共済加入の必要性・重要性を確認し合っていました。また丸山さんからは「班支部活動の手引きの通り班会は重要だと思う。周りに困っている人が多くいると思うので、開催することで要求を引き出すことができる。集まる努力をしていきましょう」と訴えられ、討論がされました。



懇親会では黒埼らしいアットホームで暖かな雰囲気の中、新入会員で学習会初参加の三宅さん(建築板金業)や大島さん(ハウスクリーニング業)から、会員と役員の間わりについての質問が。会員が主人公となり中小業者の地位向上の運動を進める民商の仕組みが説明されるなど、有望な若手の入会を歓迎・期待を寄せ、有意義な時間を過ごしていました。

共済加入者を増やそう！亀田支部共済会学習会

亀田支部は23日に三川温泉・旅館まるにて、共済と班支部活動学習会を開催し、10名が参加しました。

黒井支部長が「学習をして、温泉に入っておいしい料理を食べて、日頃の疲れを癒しましょう」と挨拶。

続けて松本共済理事長の共済学習会が行われました。「15歳から加入だと学生でもいいの?」「75歳以上も日数を増やして欲しい」などの質問や意見が出されます。松本さんは「より良い制度にするために加入者を増やしていきたい」と訴えていました。



次に「班活動のすすめかた」と「班・支部建設のすすめかた」を学習。黒井支部長が「亀田支部は4班ある。人と人のつながりで班ができています」と話し、参加者は「自分が何班か分かって良かった」などの感想が出されました。

学習会の後は、温泉と料理を堪能し交流しました。

シリーズ・商売頑張る・30

「入居者募集中!」

アパート経営・古侯学さん(内野支部)

私は新潟市西区で8部屋の2階建てと4部屋平屋建ての2棟のアパートの大家をしています。

アパートの経営は父の他界後に引き継いで始めました。

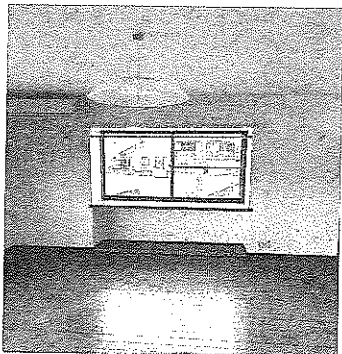
当時家の周囲には民商の会員さんが多く居た事も有って民商へ入会をしました。

引き継いだころから既に新潟大学(五十嵐キャンパス)周辺はアパートが飽和状態でしたが、更にその後アパートやマンションの建設が続ぎ、経営は大変厳しい状況が続いています。

メインの2階建てでは、現在8部屋中3部屋が空いており、入居者を募集中です。学生以外の方も入居可能です。また駐車場は少ないですが1台分空いています。入居希望の方のご連絡は私に直接又は仲介の「アパマン情報館 新潟大学前店」様へご連絡下さい。よろしく申し上げます。

※所在地 西区五十嵐2の町9062番地

連絡先 (携帯)090-2849-3965 古侯学



新シリーズ・商売頑張る 掲載希望者を随時募集中です

毎週発行の「赤粋ニュース」にあなたのことを掲載しませんか。商売のことを中心にお店のPRや民商の会員になったきっかけなど掲載します。投稿希望の場合は記事の他に写真もあわせて送付いただくようお願いします。

送り先は

メールアドレス minsyo@gamma.ocn.ne.jp

※投稿する前に事務局ニュース担当まで連絡をお願いします。パソコンが使えない場合は事務局が取材に伺います。

認知症について理解を深め合う

「新商連共済会いのちと健康を守る学習交流会」

3日、新商連共済会主催の「いのちと健康を守る学習交流会」が開催され、県内各民商から52名が集まり、新潟民商からは12名が参加しました。

はじめに新潟県福祉保育部高齢福祉保育課の高橋裕子さんより「認知症について」認知症予防と認知症の人との向き合い方」と題した講演が行われました。高橋さんは「認知症は誰でもかかる可能性がある病気、認知症になっても心は豊かに生きていく。タニンゴトではなく、ジブンゴトととらえてください。」と話しました。

次に活動報告が行われ、「役員中心の大腸がん検診に取り組み受診者が増えた。」(佐渡)「月一回の役員会を開き、県連の方針にこだわる活動を行なった。」(村上)「各支部で共済会学習会に取り組み、助け合いの活動を学びこれからも会員同士の交流を深めたい。」(新潟)と各民商の共済活動を交流しました。

最後に青木県連事務局長より中小業者をめぐる情勢とこれからの運動について報告がありました。閉会后、懇親会で交流を深めました。

新潟民商共済会 大腸がん検診(速報値)受診者数減少、昨年の受診者数を下回る

新潟民商共済会では大腸がん検診を実施しました。会員・家族のいのちと健康を守るため、各支部での奮闘お疲れ様でした。

今年度は518名の方が受診(昨年度529名)しましたが、受診者数は年々減少しています。会員の年齢層が年々上がり「掛かりつけの医者で受診した」などのケースが増えていること、支部役員の高齢化で前ほど丁寧な活動として取り組めないことなどが課題となります。共済役員だけが頑張る活動から、支部全体で協力しながらすすめる活動への変化が求められます。支部で開催される共済会学習会で、共済活動への理解を広げていくことが重要です。共済活動の基本である「目配り・気配り・心配り」が実践される民商・支部を目指しましょう。

【前年より受診者を増やした支部】

関屋支部・曾野木支部・駅前支部・木戸支部・大形支部
松浜支部・中野小屋支部・寺尾支部・白根支部

